

<学内での活動>

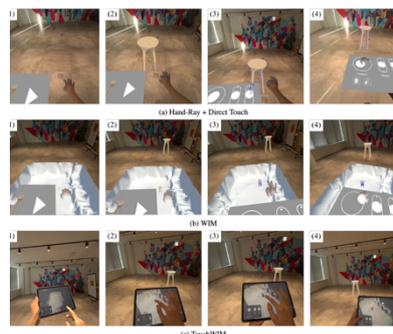
1. 研究委員会 委員長
2. 紀要委員会 委員長
3. システム委員会 委員
4. Augmented State Project 研究分担者

<学術論文・書籍・学会発表>

1. TouchWIM: Object Manipulation in AR Spatial Design with World in Miniature and Hybrid User Interface

株式会社マープルとの共同研究成果。World in Miniature(WIM)と Hybrid User Interface(HUI)を組み合わせた新しいインタラクション手法である TouchWIM を提案。

S. Imatani, K. Tobitani and K. Akabane, "TouchWIM: Object Manipulation in AR Spatial Design With World in Miniature and Hybrid User Interface," in IEEE Access, vol. 13, pp. 69269-69280, 2025, doi: 10.1109/ACCESS.2025.3562253.

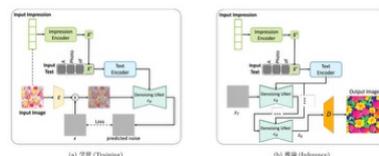


<学術論文・書籍・学会発表> 1 における提案手法

2. 印象プロンプティングによる柄画像生成

関西学院大学との共同研究成果。画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2025),にて発表。

ジェントイサンジャ, 都賀美有紀, 長田典子, 塩原楓, 山崎俊彦, 飛谷謙介 (2025) 印象プロンプティングによる柄画像生成. 画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2025), IS3-181.



<学術論文・書籍・学会発表> 3 における提案手法の概念図

3. Stable Diffusion を用いた印象駆動型柄生成

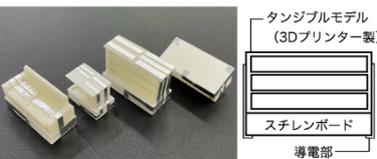
関西学院大学との共同研究成果。電子情報通信学会メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会にて発表。2025 年度 MVE 賞  
ジェントイサンジャ, 塩原楓, 山崎俊彦, 都賀美有紀, 飛谷謙介, 長田典子 (2025) Stable Diffusion を用いた印象駆動型柄生成. 信学技報, MVE2024-96, 361-366.



Figure 3: System overview of Ephemeral Breath: (a) decomposed hardware modules, (b) assembled antismoon device, and (c) form factors for different installation contexts.

4. Ephemeral Breath: Non-contact Biofeedback System in Habitual Behaviors for Everyday Mindfulness

ACM TEI '26: the 20<sup>th</sup> International Conference on Tangible, Embedded, and Embodied Interaction, Work in Progress にて発表予定 (採択決定)。



<学術論文・書籍・学会発表> 4 における提案装置

5. CNN を用いた積層造形物における表面質感の印象推定

関西学院大学との共同研究成果。ビジョン技術の実利用ワークショップ (ViEW2025)にて発表。

今川航介, 都賀美有紀, 葛睿剛, 長田典子, 飛谷謙介, 益山詠夢, 湯浅亮平, 田中浩也 (2025) CNN を用いた積層造形物における表面質感の印象推定. ビジョン技術の実利用ワークショップ (ViEW2025) 講演論文集, IS1-6, 181-186

6. タンジブルユーザインタフェースを用いた俯瞰的な MR 空間設計

株式会社マープルとの共同研究成果。第 30 回日本ヴァーチャルリアリティ学会大会にて発表。

今谷真太郎, 赤羽亨, 飛谷謙介 (2025) 第 30 回日本ヴァーチャルリアリティ学会大会, 2E1-02.

## <展示・パフォーマンス>

1. 「The Sight of Cline (ザ サイト オブ クライン)」ライブ演奏  
(2026年1月11日)

「The Sight of Cline (ザ サイト オブ クライン)」にて、福島諭、鈴木悦久とのユニット(Mimiz)で発表。<http://shimaf.com/soc/>



<展示・パフォーマンス> 1

2. 《Radio Streaming Persistence of Vision》  
(2025年11月28日-12月10日)

アート&デザインコレクティブ glow による展覧会「glow in/complete」にて発表。横山徹、赤羽亨との合作。<https://glow-collective.org/in-complete/>



<展示・パフォーマンス> 2の展示の様子

3. VR アーカイブビューワープロジェクト (2025年11月28日-12月10日)  
- 鑑賞者主観情報と時空間データによるVR アーカイブシステムの開発 -

アート&デザインコレクティブ glow による展覧会「glow - in practice」にて発表。科学研究費助成事業「鑑賞者主観情報と時空間データによるVR アーカイブシステムの開発」(研究代表者:愛知県立芸術大学 池田泰教 准教授)における研究成果。<https://glow-collective.org/in-complete/>



<展示・パフォーマンス> 3の展示の様子  
(撮影:丸尾隆一)

## <共同研究>

1. 科学研究費助成事業  
「鑑賞者主観情報と時空間データによるVR アーカイブシステムの開発」

展示空間の客観的事象および主観的視聴覚情報をVR空間上に再現する芸術作品記録手法の開発を目的とし、今年度は昨年度開発した3Dデータレコーダ/VRデータビューワーを高精度化し、複数回の小規模実験と検証を行った。

研究代表者:池田 泰教 愛知県立芸術大学, 美術学部, 准教授

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-23K00238/>



2. 科学研究費助成事業  
「感性個人差指標 Affect-X の構築とビスポーク AIサービスの基盤確立」

個々人に固有な感性的特性を表現可能とする新しい感性個人差指標 Affect-X の構築とともに、指標を再現性良く計るための意識的・無意識的な心的状態の計測・推定技術の開発を目的とし、今年度は布柄質感における認知機序に基づいた画像生成手法の開発に従事。

研究代表者:長田 典子 関西学院大学, 工学部, 教授

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-23K24936/>



<共同研究> 1のデータ取得実験の様子

3. その他 1 企業、2 大学との共同研究を実施 (confidential)

---

### <学会運営>

1. ACM Multimedia 2024 Program Committee
2. ビジョン技術の実利用ワークショップ 2025 (ViEW2025) プログラム委員会
3. 動的画像処理実利用化ワークショップ 2026 (DIA2026) プログラム委員会
4. 日本顔学会 理事補佐
5. 精密工学会 画像応用技術専門委員会
6. 先端芸術音楽創作学会 論文委員会

---

### <その他の活動>

1. 大友良英、山崎阿弥の即興演奏を録音・編集・マスタリング  
(2025年6月14日-6月15日)

新潟県新発田市の内之倉ダムにて、大友良英さん、山崎阿弥の即興演奏を録音した。現在、編集・マスタリング作業を実施中。



<その他の活動> 1 の録音の様子